

## 震災：中医学にできること PTSD に漢方薬を

関 隆志

(東北大学 CYRIC サイクロトロン核医学研究部)

### 要旨

震災により多くの被災者や救助者が PTSD になることが報告されている。PTSD に対しては、向精神薬などの薬物療法は副作用が現れやすく、利用は限定的になる。また心理療法も受けられる施設が限られる。

一方で、四川省の大地震のときや東日本大震災のときに PTSD に対して漢方薬を処方して効果を上げた報告がされている。逍遙散に二陳湯の成分などを加方した Xiao-Tan-Jie-Yu-Fang (XTJYF) のエキス剤を作り、2008年5月12日に発生した四川大地震の被災者で PTSD のある者に投与した。構成生薬の比率 (%) は、逍遙散 (柴胡 4.5, 当帰 4.5, 茯苓 15.2, 炒白朮 4.5, 炒白芍 7.6, 薄荷 3.0, 炙甘草 3.0), 二陳湯の成分 (法半夏 7.6, 陳皮 4.5), 黄芩 1.5, 煨竜骨 15.0, 煨牡蛎 15.0, 大黃 6.1, 石菖蒲 7.6 (Meng XZ, et al. A chinese herbal formula to improve general psychological status in posttraumatic stress disorder: a randomized placebo-controlled trial on sichuan earthquake survivors. Evidence-based complementary and alternative medicine : eCAM. 2012;2012:691258.)。

また、Numata Tらは東日本大震災の PTSD 患者において柴胡桂枝乾姜湯により IES-R が有意に改善することを報告した。柴胡桂枝乾姜湯は、ツムラ柴胡桂枝乾姜湯エキス顆粒 (柴胡 6g, 栝楼根 3g, 桂皮 3g, 黄芩 3g, 牡蛎 3g, 甘草 2g, 乾姜 2g) (Numata T, et al. Treatment of posttraumatic stress disorder using the traditional Japanese herbal medicine saikokeishikankyoto: a randomized, observer-blinded, controlled trial in survivors of the great East Japan earthquake and tsunami. Evid Based Complement Alternat Med : eCAM. 2014;2014:683293.)。

Seki Tらは、加味逍遙散が東日本大震災の被災者で PTSD 様症状を示すものにおいて IES-R-J が改善することを示した。この加味逍遙散は OTC で、加味逍遙散エキス錠 S「コタロー」(9錠中, 当帰・芍薬・白朮・茯苓・柴胡 各 1.5g, 牡丹皮・山梔子・甘草各 1g, 薄荷 0.5g) であった (Seki T, Sasaki K, Mori S, Meguro K. Use of Traditional East Asian Medicine to Diagnose and Kampo Medicine

Kamishoyosan to Treat Survivors of the Great East Japan Earthquake 2011: A Retrospective Study. *Altern Integ Med.* 2014;3(4).

以上の報告より、柴胡剤が PTSD に有効なことが示唆される。

キーワード：PTSD、逍遙散、柴胡剤、東日本大震災

## はじめに

東北大学の関です。「PTSDに漢方薬を」ということで、大震災の後、漢方薬が PTSD に効果があったという報告がございますので、少しご紹介して、さらに、その漢方薬の中身を簡単に分析してみたいと思います。

東日本大震災のときも熊本のときもそうですけれど、やはり PTSD になっている方というのはたくさんいらっしゃいまして、被災者のみならず、ボランティアで活動される方、自衛隊や警察官、あるいは学校の教員や、被災した方を援助するために現地に入られたような方も、多く PTSD になっていらっしゃるという報告がございます（図1）。

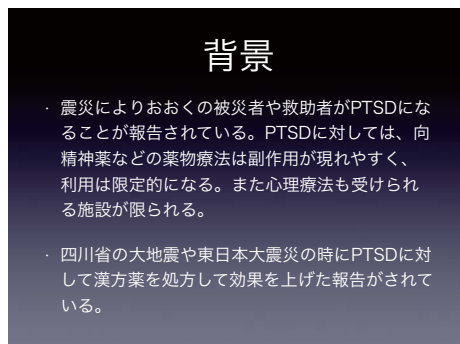


図1 背景

医者立場として PTSD をどうするのかということですが、なかなかいい手段がなくて、向精神薬ぐらいしか、思い浮かびません。とはいえ、ご存じかも知れませんが、向精神薬というのは副作用が非常にありますので、現実的にはなかなか使いにくいものなのです。それで、心理療法というものがあるわけですが、残念ながら日本の精神医療の現場では欧米に比べますと心理療法というのはまだまだ普及しているとはいえません。心理療法士という学会認定の資格がございます。そういう資格をお持ちの方はいらっしゃるわけですが、決してたくさんいらっしゃるわけではなく、「心理療法を受ければいいんじゃないかな」という方が受けられるような施設も非常に限られているというのが現状かと思えます。

そんななか、四川省の大地震というのがございました。それから東日本大震災がありまして、その際に PTSD に対して漢方薬を処方して効果を上げたという報告がございますので、少しご紹介したいと思います。

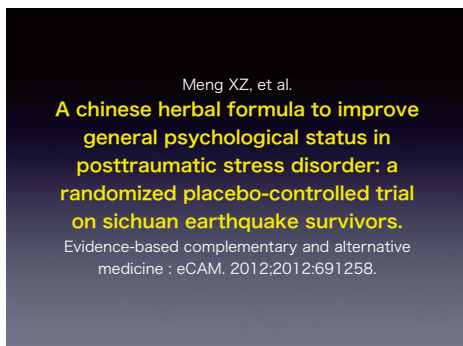


図2 Meng XZ らの論文

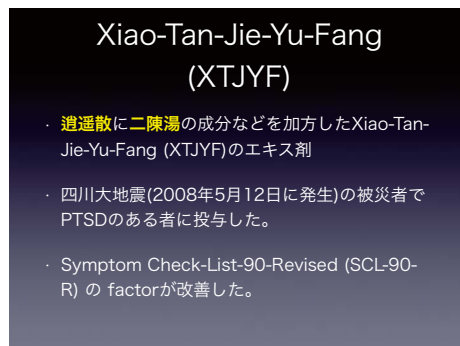


図3 論文要旨

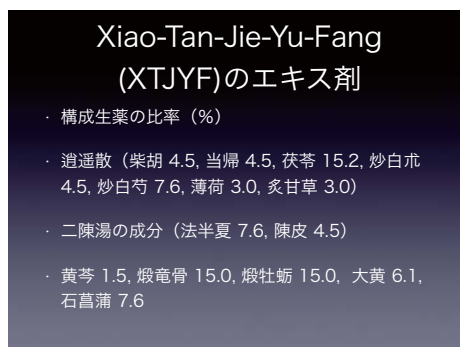


図4 Xiao-Tan-Jie-Yu-Fang (XTJYF) のエキス剤

## ■ 四川大地震における漢方薬の効果

これは、『eCAM』という雑誌に載った、四川省の大地震の被災者の方に対して行われた経験を論文にされたものです(図2)。Xiao-Tan-Jie-Yu-Fang(図3)という、逍遙散に二陳湯などの成分を加えたもののエキス剤をつくって、2008年5月に起こった四川大地震の被災者の方に投与したというものです。Symptom Check-List-90-Revised という、PTSDの方の評価指標があるのですが、それがこのエキス剤で改善したという報告であります。

このエキス剤(図4)は、逍遙散をベースにしているのですが、そこに半夏・陳皮という二陳湯に含まれるような成分と、黄芩・竜骨・牡蛎・大黃・石菖蒲という組成になっています。石菖蒲は、先生方もご存じだと思いますけれども、昔から物忘れとか、そういう精神症状に対して使われているものの1つですね。

## ■ 東日本大震災における漢方薬の効果

### ■ 1. 柴胡桂枝乾姜湯

次は、東日本大震災のときに、やはり同じ『eCAM』に出た論文です(図5)。これは、PTSDの方に柴胡桂枝乾姜湯を飲んでいただいて、それを評価している論文です。

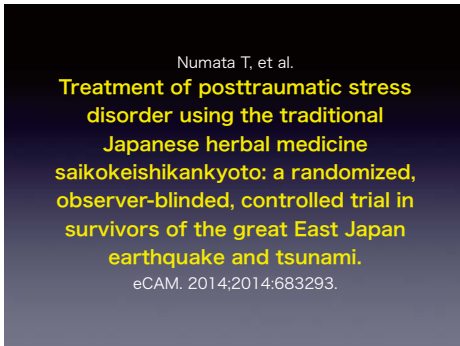


図5 Numata Tらの論文

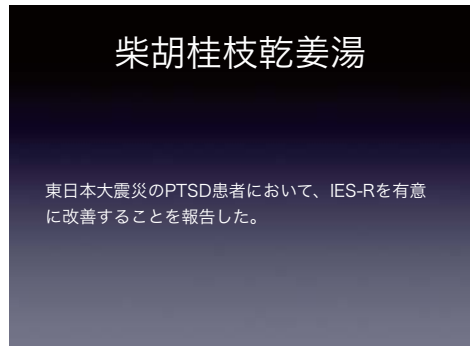


図6 論文要旨



図7 ツムラ柴胡桂枝乾姜湯エキス顆粒

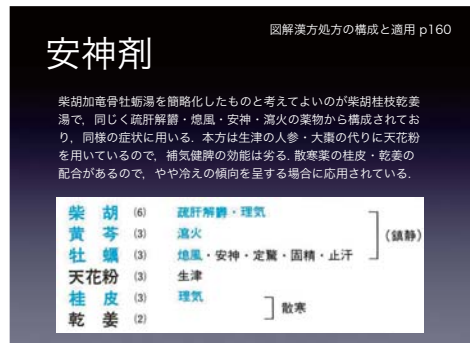


図8 安神剤

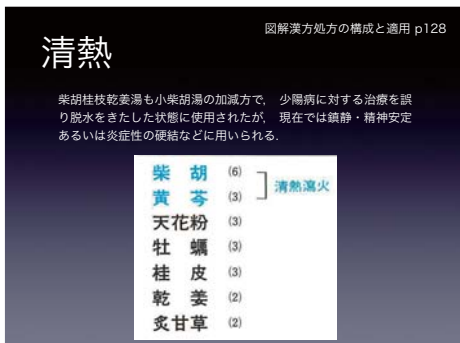


図9 清熱

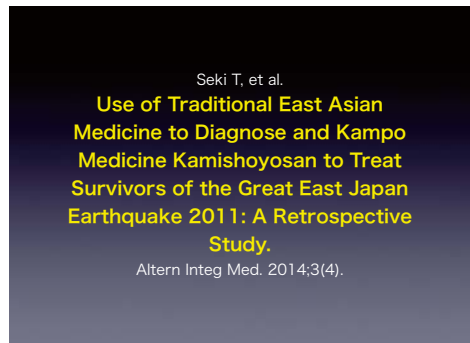


図10 Seki Tらの論文

これは IES-R という、これも PTSD の評価指標としては国際的によく使われるものなのですが、それを有意に改善したという報告であります (図6)。

ご存じのように、柴胡桂枝乾姜湯ですので、柴胡・栝楼根・桂枝・黄芩・牡蠣・甘草・乾姜といったものが含まれるエキス剤 (図7) になります。

これは、森雄材先生がお書きになった『図説 漢方処方構成と適用』という本に載っている柴胡桂枝乾姜湯の説明ですけれども (図8)，柴胡・黄芩・牡蠣では柴胡の疏肝解鬱・理気，黄芩の瀉火，牡蠣の安神作用などで鎮静を行うという効能が期待できます。それから桂皮・乾姜で温める働きがありますので，散寒。そして天花粉で生津ということで，安神剤の一種として使われるものの1つです。

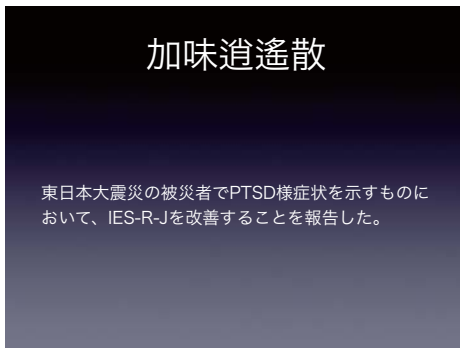


図 11 論文要旨

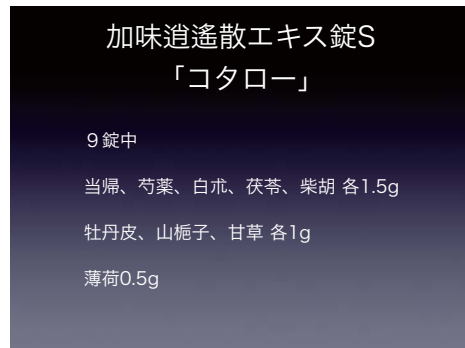


図 12 加味逍遙散エキス錠 S 「コタロー」

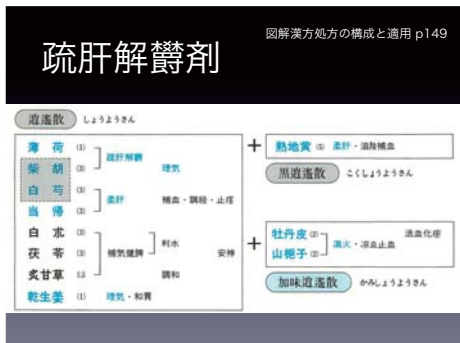


図 13 疏肝解鬱劑

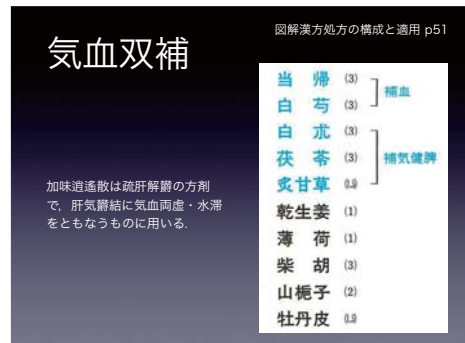


図 14 気血双補

柴胡と黄芩という点に着目しますと (図9), 清熱瀉火ということで, 清熱の働きを利用して精神的な安静・鎮静といったものを期待して使われることもあるということでもあります。

それから, 同じ東日本大震災におきまして, これは, PTSD 様の被災者の方に加味逍遙散を投与したものです (図10)。このときの対象は, 老健施設, 介護施設にお勤めの平均年齢 30 代の若い方で, 実際に津波に襲われて, 目の前で日頃自分が介護していた高齢者の方が津波の水の中に沈んでいく, それを助けられなかったという, 非常に辛い体験をしております。

これは私の体験ですけれども, 当時, 震災が起こって2カ月くらいの間は本当に交通網も復旧がうまくいっておりませんで, 例えば大学病院ですら薬が足りないということで, 普通は「1カ月分処方」などとするわけですけれども, 「5日分処方」しかできないというような状態でした。漢方薬も同様で, 製薬メーカーに電話をして「とにかくなんでもいいから送ってください」とお願いして, OTC の漢方薬を頂戴しました。OTC ですので, 医療用の漢方薬よりもエキスの量は少ないものになっております。ただ, それでも, PTSD 様の症状を示す方には, この IES-R-J を改善することができたということでもあります (図11)。

当帰・芍薬・白朮・茯苓・柴胡・牡丹皮・山梔子・甘草・薄荷といったものが入った方剤が加味逍遙散ということになります (図12)。

釈迦に説法だとは思いますがけれども, 森雄材先生の本では, 加味逍遙散は疏肝解鬱劑として認識されておりますし (図13), 当帰・白芍で補血をして, 白朮・

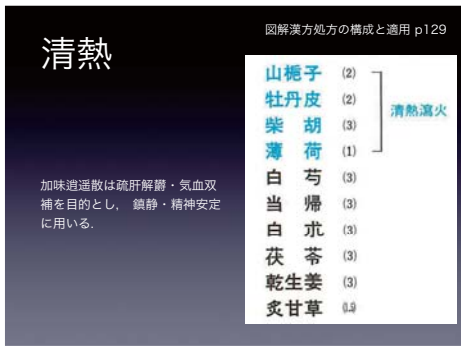


図 15 清熱

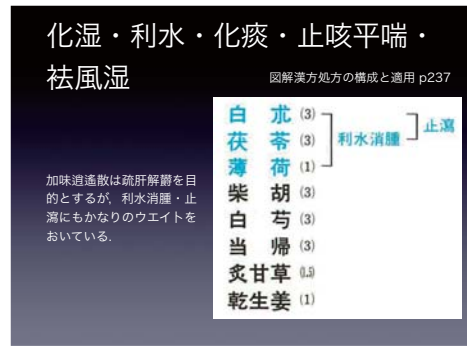


図 16 化湿・利水・化痰・止咳平喘・祛風湿

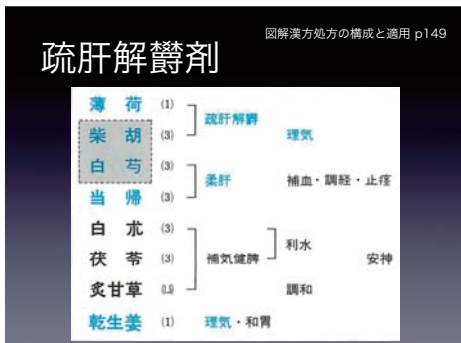


図 17 疏肝解鬱劑



図 18 調和肝脾劑

茯苓・炙甘草で補気健脾をするということで、気血双補の効能も期待されています (図 14)。また、先ほども出てきましたけれども、山梔子・牡丹皮・柴胡・薄荷で清熱瀉火もします (図 15)。さらに、白朮・茯苓・薄荷で利水消腫あるいは止瀉ということで、こういった効能をもつ方剤ということになります (図 16)。

中国の方剤も、加味逍遙散も、この逍遙散をベースにしております。薄荷・柴胡で疏肝解鬱、柴胡で理氣、白芍・当归で柔肝と補血・調経・止痒、白朮・茯苓・炙甘草で補気健脾、あとは生姜ということになっています (図 17)。それで、調和肝脾剤としても使われます (図 18)。

## まとめ

これは、3つの方剤を構成生薬の効能別に一覧にしてみたものですが (図 19)、ブルーのところはおもに清熱瀉火の効能をもっているもの、グリーンのところは安神作用をもっているもので、この3つの方剤はいずれも清熱・安神という効能の生薬を含んでいることがわかります。さらに炙甘草はすべてに共通して入っておりまして、補気あるいは化痰の効能のある薬がいずれの方剤にも入っています。それから、補血あるいは生津の、陰を補うような生薬も入っているということです。

先ほど震災後のタイミングで中医学的な評価をされていたご発表のなかに、熱証の方が多い時期と、寒証あるいは陽虚の方がいらっしやる時期、あるいは気滯

	Xiao-Tan-Jie-Yu-Fang	加味瀉瀉散	柴胡桂枝散
柴胡	疏肝解鬱・理氣・清熱瀉火；鎮靜		
薄荷	疏肝解鬱・清熱瀉火		
黃芩	瀉火；鎮靜		
大黃	瀉火；瀉下；鎮痛		
山梔子	清熱瀉火		
牡丹皮	清熱瀉火		
茯苓	補氣健脾・安神		
牡蠣	熄風・安神・定驚・固精；止汗；鎮靜		
竜骨	熄風・安神・定驚・固精；止汗；鎮靜		
白朮	補氣健脾		
炙甘草	補氣健脾		
半夏	化痰・化濁；理氣・止嘔・止痰		
陳皮	化痰・化濁；理氣・止嘔		
石膏	除熱・化濕；解鬱・醒神健脾		
乾姜	散寒・化痰；化濕・理氣・止嘔		
桂皮	理氣・散寒		
當歸	補血		
芍薬	補血		
天花粉	生津		
	清熱	補氣・化痰	
	安神	補血・生津	

図 19 3方剤の構成生薬の効能別一覧

## 結論

以上の報告より、  
清熱瀉火、安神、補気などの生薬で構成された柴胡剤がPTSDに有効なことが示唆された。

図 20 結論

が認められる時期があるという発表がございました (p.54 木村朗子「3つの災害現場で体験したこと」参照)。そういう観察というのは非常に有用だと拝聴しておりました。ですから、そういった震災後のタイミングごとに中医学的にどういったタイプの証が多いのかというデータが、今後の私ども中医学会としての震災対応におきましては非常に有益な示唆を与えるものになります。先ほど篠原先生からもご報告がございましたけれども、「理事会としましても震災対応チームのようなものを常設していきたい」ということでありますので、先ほどのご発表のようなデータ、あるいはお三方の先生方の貴重な体験というものも取り入れて、いい震災支援ができるようなチームになるのではないかと、そのなかで漢方薬も1つ有益な手段になると思われまます。

以上3つだけの報告でございますけれども、清熱瀉火・安神・補気といった生薬で構成した柴胡剤がPTSDに有効であるということが示唆されたのではないかと思います (図 20)。